

京都府市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名：与謝野町

1. 平成29年度 市町村体制づくりの取組について【総括表】

計画の概要等	背景	本町の財政は、依存財源である交付税への依存度が非常に高い、脆弱な財政基盤である。平成28年度からは、普通交付税の合併特例の合併算定替えが段階的に縮減し、一本算定となる平成33年度では、平成28年度と比較し約4.3億円が減収となる見込みをしている。そのため、持続可能で効率的な行財政運営への転換が急務となっている。		
	必要性	合併以降、第一次行政改革大綱を策定し、事務事業見直し、指定管理者制度への移行など効率的な行財政システムへの取組みを進めてきたが、公共施設については旧町時代から引き継いだまま公共施設マネジメントが進んでいない状況である。そのため、平成27年9月に「与謝野町公共施設白書」を策定、平成28年度には「与謝野町公共施設等総合管理計画」を策定、施設の統廃合・長寿命化、管理運営経費の削減を進めます。		
	概要	平成25～29年度を第二次行政改革期間とし、交付税減額対策として計画的な財政調整基金の積み増し、更なる行財政運営の効率化に取り組んでいるが、特に27・28年度は公共施設のあり方についての集中取組期間とし、「与謝野町公共施設等総合管理計画」の策定に取り組む。平成25～29年を第二次行政改革期間とし、合併特例期間終了の財政負担増に向けて更なる取組を行う。		
	効果	本計画の実行により経常経費の削減・地方債残高の減少等、財政負担が軽減され、持続的・安定的な行財政運営が図られる。		
事業実施による効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	事業効果（単位：人・千円等）
小規模市町村支援	町道維持補修事業	町道長寿命化のため適切な維持補修を行った。	町道25箇所の維持補修修繕	町道の修繕・維持補修を行い、整備事業費抑制について、5カ年で167,013千円の効果額を計上する見込み。
	河川維持補修事業	河川・水路の長寿命化のため適切な維持補修を行った。	河川・水路5箇所の維持補修修繕	河川・水路の修繕・維持補修を行い、整備事業費抑制について、5カ年で63,435千円の効果額を計上する見込み。
	廃棄物処理施設補修事業	廃棄物処理施設長寿命化のため適切な維持補修を行った。	廃棄物処理施設維持補修工事 6件	廃棄物処理施設の修繕・維持補修を行い、整備事業費抑制について、5カ年で8,090千円の効果額を計上する見込み。
	町営住宅維持補修事業	町営住宅長寿命化のため適切な維持補修を行った。	町営住宅維持補修工事 6件	町営住宅の修繕を毎年行うことで大規模改修等の整備事業費の軽減が図られ、5カ年で21,724千円の効果額を計上する見込み。
	農業用施設維持補修事業	農業用施設長寿命化のため適切な維持補修を行った。	農業用施設維持補修工事 1件	農業用施設の修繕・維持補修を行い、整備事業費抑制について、5カ年で13,744千円の効果額を計上する見込み。
	し尿処理施設維持補修事業	し尿処理施設長寿命化のための適切な維持補修を行った。	し尿処理施設維持補修工事 7件	し尿処理施設の修繕・維持補修工事を行い、整備事業費抑制について、5カ年で9,087千円の効果額を計上する見込み。
	学校施設維持補修事業	学校施設長寿命化のため適切な維持補修を行った。	学校維持補修工事 8件 (小学校8 中学校0)	学校施設の修繕・維持補修を行い、整備事業費抑制について、5カ年で13,592千円の効果額を計上する見込み。
	公共施設省エネルギー化事業	公共施設の電灯を消費電力の少ないLEDに更新し、コスト軽減と設備の長寿命化を行った。	街灯のLED化工事	公共施設の省エネルギー化整備を行い、電気料金の削減について、5カ年で4,718千円の効果額を計上する見込み。
広域連携事業支援	公共交通利用促進事業	高齢者片道200円レール切符の取組みを行った。	与謝野町負担金 19,909千円	与謝野町負担金1,909千円で、与謝野町単独の取組みと比べ大幅な経費節減（単年度17,153千円）の効果。